

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 |
| (2) 事業所名 | 折尾丸山保育所 |
| (3) 所在地 | 北九州市八幡西区光明二丁目5番27号 |
| (4) 電話番号 | 093-601-3350 |

2 評価実施日

平成15年 8月28日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育所は、緑豊かで閑静な住宅地の中にあります。周辺には、小学校や警察署、消防署、区役所出張所、市民福祉センターなどがあり、それらの公共機関と様々な交流が持たれています。

統合保育や異年齢児との交流が組み込まれた保育計画を基に、一人一人の個性を大切にされた保育が展開されています。健康管理や感染症への対応についてはマニュアルに基づき、適切な対応が取られています。給食では、菜園活動で収穫した野菜を食材に使用するなど、子どもたちの食への関心が高められており評価できます。

園庭には、自然との触れあいやダイナミックな遊びができる環境が整えられています。施設面では、限られたスペースを上手に活用し、子どもたちの快適な生活空間を確保しようとする工夫が認められます。

統合保育では、これまでの実績を踏まえ、障害児保育の経験を持つ保育士を中心に、障害に応じた保育が実践され、それぞれの障害児たちはクラス集団の一人として自然に受け入れられています。また、孤立しがちな地域の障害児親子や通園施設の園児との交流も行われており、所全体の前向きな取り組みと、その取り組みに対する保護者の理解が高く評価できます。

異年齢児の交流保育も指導計画に位置付けられ、当所ならではの多様な実践がなされています。

保育経験の長い保育士が多いことから、子どもへの安定した対応が見られ、お互いの連携も良くなされています。できれば、子どもが幅広い年代の保育士とかわるこたのできる工夫も必要ではないかと考えます。

子育て支援については、現在は在所児の保護者に対するものが中心となっていますが、今後は地域の子育て家庭への支援も視野に入れた取り組みが望まれます。

保育サービスの向上に向けては、日程や時間帯を調整しての全家庭を対象とした個人懇談の実施や保護者アンケートの結果を全職員で考察するなどの取り組みが見られ、今後に大いに期待できます。

評価対象ごとの評価（概要）

評価対象	評価結果
<p>子どもの発達援助</p> <p>一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。</p>	<p>統合保育への取り組みの実績が保育全般に反映され、子ども一人一人の個性や自発性を大切にされた保育が展開されています。各種指導計画の策定や実践の記録などがきちんと整理されており、ケース会議も必要に応じてきめ細かく開かれ、クラス間の連携がスムーズに行われています。</p> <p>健康管理や感染症への対応については、マニュアルが整備されており、適切に対応されています。給食では、子ども達が収穫した野菜が使われ、食べることへの意欲や食事を楽しむことへの一助となっています。また、除去食の提供や保護者への喫食状況の伝達、試食会の開催なども行われています。</p> <p>園庭には、花壇や菜園、砂山、ログハウス、桜の大木など、自然との触れあいが楽しめる環境が整えられています。施設面では、限られたスペースの中で、子ども達が快適に過せるよう、折にふれ、全職員で話し合い、保育室の使い方や環境構成の見直しを行うなどの努力がなされており、評価できます。調査時には、棚やテーブルに緑葉樹の小鉢や園庭の草花が置かれ、窓にはすだれがブラインド風に用いられるなど、生活の場として落ち着いた雰囲気を作り出す配慮がうかがえました。ただ、4歳児が使用しているトイレについては、生活習慣の確立の面からも扉の設置が望まれます。</p> <p>日々の保育では、異年齢児との交流が積極的に行われており、幅広い仲間関係の中での育ち合いが期待できます。また、菜園活動などの実体験や素話、絵本の読み聞かせを通して、感性や想像力が育まれ、表現活動や言語環境を豊かなものに行っていることがうかがえ評価できます。</p> <p>乳児保育では、保育士のあやし遊びに1歳の障害児を含む乳児たちが満面の笑みで応えている姿に安らぎが感じられ、日常の安定したかわりが推し量られます。</p>
<p>子育て支援</p> <p>子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。</p>	<p>保護者との連携については、今年度から個人懇談会の年間計画を作成し、保護者が参加できる時間帯に合わせて実施しています。全職員が進んでかかわっていることが高く評価できます。また、連絡ノートやクラスノート、伝達ノートなどがよく記載され、確実に閲覧、回覧されています。</p> <p>地域における子育て支援では、障害児や退園後の短期入所児の母子に所を開放して受け入れています。今後は、地域の未入所児についても、その機会を設けることが望まれます。</p>

<p>地域住民や関係機関等との連携</p> <p>地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。</p>	<p>折尾東まちづくり協議会に所長が参加して、地域との連携を図っており、最近では不審者侵入の際の協力要請を行っています。</p> <p>事業団4保育所の年長児による「なかよし会」で交流が実施されています。今後は、小学校との授業参観や保育参観などの連携が望まれます。</p> <p>近隣住民に対する保育所活動へ理解を得るための取り組みでは、安全面から行事への招待は行われていませんが、送迎時の駐車で迷惑を掛けない取り組みや、焼きイモ大会でコミュニケーションを図る取り組みなど、努力がうかがえます。</p> <p>実習生や保育体験などの受け入れでは、事前、事後共に指導がよくなされています。</p>
<p>運営管理</p> <p>保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。</p>	<p>保育に関する基本方針では、事業団作成のものに加えて、折尾丸山保育所独自の内容が書き加えられており、関係者に周知が図られています。</p> <p>職員研修に積極的に取り組み、自主研修も実施されています。職員が意見を出し合って保育環境を見直し、施設のバリアフリー化などが実現されています。</p> <p>守秘義務に関する規程、マニュアルは整備されており、問題がある事例については原因を分析し、その結果を記録として残しています。保護者の意見の反映によく取り組み、今回の保護者アンケートについても、全職員で結果を考察し、今後の保育に生かそうとしています。</p>